




宇曽利山湖自然サイト モニタリングマニュアル

モニタリングを実施した場合は、様式「モニタリング確認書」へ必要事項を記入の上、定点観測の写真を添付し、下北ジオパーク推進協議会事務局まで提出をお願いいたします。

1. 簡易カルテ				
名称	宇曽利山湖	エリア区分	恐山	
所在地	むつ市	トイレ	あり	
アクセス	JR 下北駅から車で約40分			
駐車場	あり	看板	看板:なし	
説明	<p>恐山の中心部に位置し、最大水深約24mのカルデラ湖である宇曽利山湖は、湖底から湧く火山性ガスによって湖水が酸性化し、平均 pH は 3.5 という強酸性の湖沼。この酸性湖に魚類では 1 種類のみウグイの生息が確認されている。調査によって、エラの細胞が発達していること、産卵、成長などの生態についても明らかになってきている。なお、宇曽利山湖のウグイは青森県の地域限定希少野生生物に認定されている。</p> <p>周囲の土壌も火山性ガスによって強酸性条件となっており、過去に行われた数度の調査により、水銀を蓄積する苔など、宇曽利山湖周辺の動植物は特殊な生態を持つものも見つかっている。</p>			
				
想定される事態	・環境変動による湖の pH の変化やウグイの消滅が想定される。			

2. モニタリング方法

サイト内で見られる特に重要な景観、保全すべきものを定点観測対象物とする。下記定点観測対象物を定点観測場所から撮影し、撮影した日付を記載し協議会事務局へ報告する。

モニタリング対象物①「ウグイ」



宇曾利山湖でウグイが生息していることを確認したら、報告。

<確認事項>

- ・ウグイを観測した日時や詳細な場所
- ・(可能であれば)発見時のウグイの写真

モニタリングの理由	地域限定希少野生生物に指定されている貴重な動物であるため。
-----------	-------------------------------

事務局対応

モニタリング対象物②「宇曾利山湖の pH」

宇曾利山湖のpHを確認し、報告。

<確認事項>

- ・定期的に宇曾利山湖のpHを調査し、記録を行う。

モニタリングの理由	環境変動や火山活動の変化によるpHの深刻な変化がないか確認するため。
-----------	------------------------------------

3. その他確認事項

異状があった場合は異状箇所を撮影し、現場の詳細を様式「モニタリング確認書」に記入の上、協議会事務局へ報告する。また、緊急性の高い異状については、確認時に事務局までご連絡ください。

4. 異状発見報告があった場合

モニタリング実施者から異状報告があった場合は、下記の流れで関係団体へ報告を行う。

事務局は、現場の状況を確認し、必要に応じ、ホームページやチラシなどで地域住民や来訪者に対し周知を行う。

